

日本植生史学会ニュースレター

No.47 May 8, 2019

第34回大会（第1報）・第46回談話会・学会ニュース

第34回日本植生史学会大会のご案内（第1報）

第34回日本植生史学会大会を下記の要領で開催します。

◆ 日時

2019年12月6日（金）午後：幹事会

12月7日（土）午前：評議員会 午後：公開シンポジウム、学会賞・論文賞記念行事、懇親会

12月8日（日）一般研究発表（口頭・ポスター）、総会

12月9日（月）巡検（第47回日本植生史学会談話会）

◆ 会場：豊橋市自然史博物館

〒441-3147 愛知県豊橋市大岩町字大穴 1-238（豊橋総合動植物公園内）

<http://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/02annai/riyou2.html>

アクセス：JR豊橋駅から東海道本線浜松方面行きの電車で『JR二川駅』で下車

JR二川駅南口より総合動植物公園東門を經由して自然史博物館まで徒歩約15分

懇親会：会場未定

宿泊：各自でお早めにご予約ください。大会会場周辺には宿泊施設がなく、豊橋駅周辺にあります。

◆ 主催・共催：日本植生史学会（主催）・豊橋市自然史博物館（共催）

◆ 大会実行委員：吉川博章（委員長）、西本寛、那須浩郎、林竜馬

◆ 公開シンポジウム：「種の同定への挑戦：植物化石や植物遺体から種はどこまで認識できるのか？」

趣旨：植生史研究では、過去の堆積物や考古遺跡から出土する植物の断片や印象から種を同定し、そこから過去の植生や植物利用の歴史を明らかにしている。この「種を同定する」という作業は、植生史研究の基本であり、諸データの根本を成すものである。一方、近年のDNAを用いた分子系統解析やネットワーク解析からは、形態では識別しにくい隠蔽種が存在することが報告されている。また、近縁種や栽培種／野生種の識別などにおいては、種子や花粉では確認できない形質（花のにおいや色、休眠性など）が鍵を握る場合もある。私たちは、植物化石や植物遺体の形態からどこまで種や亜種・変種を識別することができるのだろうか？そこで今回のシンポジウムでは、改めて「種を同定するとは何か？」について議論したい。本シンポジウムにより、植物化石や植物遺体の種の同定についての認識を共有し、植生史学のさらなる発展に貢献したい。

以下の4講演とパネルディスカッションを予定しています（演題はすべて仮題）。

話題1：現在の植物分類学における種同定について（田村実：京都大学）

話題2：新第三紀以前の植物化石の種同定について（矢部淳：国立科学博物館）

話題3：更新世以降の化石花粉の種同定について（吉川昌伸：古代の森研究舎）

話題4：考古遺跡の植物遺体の種同定について（那須浩郎：岡山理科大学）

◆ 巡検（第47回日本植生史学会談話会）：「葦毛湿原と渥美層群をめぐる」（予定）

第 46 回日本植生史学会談話会のご案内

第 46 回日本植生史学会談話会を下記の要領で開催します。

講習会「使ってみよう、NEOTOMA とTilia」

内容:花粉や大型植物遺体,動物化石分析等の古生態学分野で国際的なデータベースとして利用されている NEOTOMA, ならびに NEOTOMA の標準ソフトウェア Tilia の使用方法について講習と実習を行います。研究成果を国際的に発信していくための有益なプラットフォームである NEOTOMA データベースについて学び,世界的に広く利用されているダイアグラム作成ソフトウェア Tilia の使用方法を修得します。なお, Tilia は,ダイアグラム作成だけでなく,化石の計数データに基づく花粉出現率や含有量の算出,層序情報や年代情報の管理,年代モデルの構築等の多様な機能があり,計数データからダイアグラム作成,データ管理までの一連の作業が可能なソフトウェアです。全ての機能が使える有償ライセンス (250 US\$),機能制限のある無償ライセンス,3年間無料で利用可能な学生ライセンスがあります(この談話会では,研修用の特別なライセンスで利用します)。

参考:NEOTOMA ホームページ: <https://www.neotomadb.org>

Tilia ホームページ: <https://www.tiliait.com>

- ◆ 講師: 高原 光, 佐々木尚子(京都府立大学), 林 竜馬(琵琶湖博物館)
- ◆ 日時: 2019年6月29日(土)13:30~17:00(講習) 30日(日) 9:00~12:00(実習)
(29日の講習のみの参加も可能です)
- ◆ 会場: 京都府立大学 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5
(京都府立大学キャンパス交通アクセス https://www.kpu.ac.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=28)
- ◆ 参加費: 正会員 1000円, 学生会員 500円, 非会員 1500円
(当日会場にて徴収します。)
- ◆ 申込方法: 電子メールにて, 件名を「第 46 回談話会参加希望」として次の事項を記載の上, danwa46@hisbot.jp 宛へお申し込み下さい。
①氏名, ②所属, ③連絡先(住所・電話番号・E-mail), ④会員/非会員の別, ⑤懇親会の参加/不参加
申し込み締め切り: 6月8日(金) 先着順。定員になり次第, 締め切ります。
定員: 30名
- ◆ 主催: 日本植生史学会
- ◆ 世話人: 林 竜馬(琵琶湖博物館)
- ◆ スケジュール(予定)
 - 1日目: 6月29日(土) (29日の講習のみの参加も可能です)
 - 13:30 集合
 - 13:30-14:30 NEOTOMA データベースの紹介
 - 14:40-15:10 花粉計数用カウンター (iPad用アプリ CounterMan) の紹介
 - 15:30-17:00 ダイアグラム作成ソフト Tilia についての講習
 - 18:00- 懇親会 (有志のみ, 参加費別途)

2日目：6月30日(日)

9:00 集合

9:00-12:00 ダイアグラム作成ソフト Tilia の使用方法の実習

12:00 解散

◆ 持ち物

Tilia ソフトウェアを利用するため、講習および実習において、Windows 環境が起動するノートパソコンをご持参ください。Mac の場合でも、Parallels Desktop や VirtualBox などのエミュレーターを利用して、Windows が起動する環境であれば、Tilia の利用が可能です。ノートパソコンの持参が難しい場合は、別途ご相談ください。

◆ 食事：昼食は各自でご持参いただくか、周辺の飲食店をご利用ください。

学会ニュース

● 次年度シニア会員制度申請のお知らせ

日本植生史学会では、植生史学分野に長年携わり活躍されてきた会員に、定年退職後も学会活動への継続的な参画を期するため、「シニア会員」の制度を設けています。

すでに 60 歳となり定年を迎えた方や、今年 3 月に定年を迎えた方など、常勤の職を持たない 60 歳以上の正会員の方で、シニア会員への会員種別の変更を希望される方は、本年 8 月末日までに申請書（学会 HP よりダウンロードできます）に必要事項を記入の上、庶務幹事宛にお送り下さい。申請書のダウンロードができない方は庶務幹事にお問い合わせ下さい。幹事会での承認を経て、次年度（2020 年度：2019 年 10 月 1 日-2020 年 9 月 30 日）よりシニア会員として登録されます。登録の流れについては下図をご覧ください。シニア会員は日本植生史学会において正会員と同じ権利を持つものとし、会費は 3,000 円とします。

	2019年										2020年				
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
年度	2018	2019										2020			
学会年度	2019						2020								
	← 申請 →						承認	シニア会員として登録、 以降の会費は3,000円							

● 国際会議での参加発表への補助

日本植生史学会では、海外で開催される、植生史学に関わる国際会議で講演を行う学生会員またはこれに準ずる会員（研究機関などに在籍し常勤職に就いていない 40 才以下の会員に限る）に対し、参加費等に充てるため 1 人 5 万円を補助いたします。対象となる国際会議は、2018 年 10 月 1 日から 2019 年 9 月 30 日までに開催される（された）ものが対象で、すでに終了したものも応募可能です。

補助金を希望する方は、件名を「国際会議参加費補助申請」として 2019 年 8 月 2 日(金)までに下記項目を電子メールにて庶務幹事宛(hbmmain@hisbot.jp)までご提出ください。申請内容に基づき日本植生史学会の幹事会にて公正に検討し、助成の可否について 2019 年 8 月中旬頃までにご連絡いたします。助成が決定した場合、大会での発表を確認後にご指定の振込先に送金します。

1. 氏名, 2. 所属機関 (学生会員でない方は詳細な職名もご記入ください), 3. 国際会議の名称, 4. 発表題目(英語),
5. 発表要旨(英語), 6. 連絡先 (住所, 電話番号, E-mail), 6. 振込先 (銀行名, 支店名, 口座番号など)

● 会費納入のお願い

2019年度の会費納入にご協力下さい。

日本植生史学会会費 (2010年度より) 一般会員 : 6,000円・学生会員 : 3,000円・シニア会員 : 3,000円・
団体会員 : 8,000円・賛助会員 : 一口 20,000円とし一口以上とする。
会費納付先 : 郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等がある方は、以下の日本植生史学会事務局にご連絡下さい。

事務局 :

- 連絡・問合せ 庶務幹事 鈴木伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2 東京都埋蔵文化財センター
TEL : 042-374-8044 庶務 : hbmain@hisbot.jp 会誌投稿 : journal@hisbot.jp
- NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 井上 淳 広報・渉外 : hbnews@hisbot.jp
- 入会・異動・退会の申し込み, バックナンバーの購入, メーリングリストアドレスの登録・変更, NL発行
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル 株) 春恒社 学会事業部内
日本植生史学会事務局
Tel : 03-5291-6231 Fax : 03-5291-2176 Mail : hisbot-office01@shunkosha.com
- 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>